



近況を伝え合う



成人者代表挨拶

議会だより

あさひむら

前進の時代へ

朝日村議会議長 北村 直樹

本年もどうぞよろしくお願いたします。

御理解を賜いますようお願いいたします。

力をお預りしながら引き続き御支援御協力をお願いいたします。

村民の皆様方におかれましては議会に深い議論を重ねて参る所存であります。村民の皆様方におかれましては議会に深い議論を重ねて参る所存であります。村民の皆様方におかれましては議会に深い議論を重ねて参る所存であります。

令和4年の新春に当たり議会を代表して謹んで新年の御挨拶を申し上げます。村民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、私生活や社会活動にあらゆる制限がかかり、日本経済に大きな影響を与えました。「コロナ」を通じて何事もない穏やかな日常がいかに幸せであるかを改めて認識する年であったと感じさせられました。

本年も当村では各種施策の実施が予定されており、コロナ対策としては、3回目の「コロナワクチン接種事業」。子育て関連施策では「小学校給食費無償化事業」。「高校生通学支援事業」。住民サービス関連では「コロナ禍で地域経済の消費底上げのために「プレミアム商品券発行事業」に、コンビニで証明書等の発行交付ができるよう「住基・税証明コンビニ発行交付事業」等が挙げられます。

これらの事業は早ければ3月定例会に提出され議員による審議を行う予定となっております。執行機関としっかりとした議論を重ねて参る所存であります。村民の皆様方におかれましては議会に深い議論を重ねて参る所存であります。村民の皆様方におかれましては議会に深い議論を重ねて参る所存であります。



もくじ

- ・ 12月定例会・委員会報告・全員協議会…………… 2・3
- ・ 一般質問 村政を問う…………… 4~7
- ・ 特集 議会モニター…………… 8・9
- ・ 議員活動報告・議員活動日誌…………… 10・11
- ・ 村民の声・ちょこっと訪問・編集後記…………… 12

●「議会だより」第43号
発行日/2022年1月31日
発行/朝日村議会
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
大字古見1555-1
TEL.0263-99-2001(代)
FAX.0263-99-2745
Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp
印刷/川越印刷株式会社

新型コロナウイルスワクチン接種3回目実施 [一般会計補正予算] コロナワクチン接種・消火栓移設など合計1億8,520万円を追加 令和3年度一般会計総額31億2,870万円

12月 定例会

12月定例会は12月8日から17日までの10日間の会期で開催された。開会日に提出された議案は専決2件、条例7件、道路1件、補正予算5件、陳情3件で8日の全員協議会、13日の常任委員会、15日の一般質問を行い、17日最終日に提出された補正予算1件を含む、上程されたすべての議案を原案どおり可決した。

〈議案の主なもの〉

朝日村男女共同参画社会推進条例の制定

男女共同参画社会の実現に向けた村づくりを進めるため、朝日村男女共同参画社会推進条例を制定するもので、性別にかかわらず全ての人が尊重され、能力を発揮できる社会を目指し、行政・村民が一体となって取組を推進するための基本理念や施策の基本となる事項を定めたもの 施行期日 令和4年4月1日

朝日村簡易水道事業条例の一部を改正する条例

朝日村下水道条例の一部を改正する条例

朝日村簡易水道事業、下水道事業の経営健全化を図るため、使用料の額の10%増額改定を行うもの 施行期日 令和4年4月1日

主な一般会計補正予算

ワクチン接種 1,355万円 消火栓移設 142万円 財政調整基金積立 1億1,064万円
子育て世帯臨時特別給付金給付事業 子育て世帯への臨時特別給付1人10万円
朝日村福祉燃料等補助券交付事業 灯油等購入補助 全村民1人3,000円補助券
なお、この補正予算案について塩原智恵美議員より質疑があった。

質疑

福祉燃料費等補助というのは、生活困窮者に手当を講じるという考え方である。今後は所得制限など基準が必要だと思うがいかがか。

村長

おっしゃるとおり。今後検討していく。

常任委員会報告

陳情報告

総務産業委員会報告

委員会には、3件の陳情が付託されました。

委員会は12月13日に開催され陳情者の長野県建築士事務所協会の担当者から、陳情説明を受けました。

1件目は自治体における建築物の設計・工事監理業務等の報酬は国交省の定める報酬基準に準拠した内容での契約を陳情するものです。

2件目は自治体の発注する建築物・監理業務には、「最低制限価格」の設定を発注予定額の90%以上に設定する陳情です。

3件目は公共建築物の「耐震診断と耐震改修」の推進の陳情です。

説明を受けた後、委員会では各内容を慎重に審査いたしました。

当村では、これらの陳情内容は履行されており今後も継続執行されることが望ましく、全会一致で「採択」となりました。

12月17日の委員長報告の場で村当局には、陳情書の趣旨を十分賢察いただき、検討されるようお願い申し上げます。

総務産業委員長 林 邦宏



10/13 全員協議会



自主防災会へ 全住民の加入を

地区・自主防災会等の今後のあり方について様々な課題がある中、早急に取り組みべき課題として自主防災組織への全住民加入を目的に、集落支援員により、情報が整理された古見区、西洗馬区から加入推進を実施している。新防災組織は災害が起きた時の地域のまとまりのため部会の名称は地区名ではなく、第一部会、第二部会…となっている。

第二次朝日村教育 大綱(素案)まとまる

平成27年に「第一次朝日村教育大綱」が策定され村と教育委員会が、教育行政に取り組んできた。この度、更新時期を迎えたことから、第一次教育大綱を発展的に継承した、第二次朝日村教育大綱を策定するものである。村が目指す教育の基本理念を、村民憲章にある「すこやかなところ、すこやかなからだ、すこやかな土づくり」をもとに、「ふるさとを想い、未来とともに拓き、自らを耕し続ける、人づくり」とし素案をまとめた。



11/17 全員協議会



マレットゴルフ場 廃止検討へ

アサヒマレットゴルフ場廃止の是非について、村から観光レクリエーション施設審議会への諮問について報告があった。諮問理由は、マレットゴルフ場の利用者が減少してきている中、施設の老朽化が進み、今後アサヒマレットゴルフ場を運営していくことが困難な状況となっており、廃止の検討が必要であるため。審議会の委員からは、賛成、跡地利用の方向等の意見が出たが、村としては利用者減、維持管理費等考慮して廃止の方向で検討したいとしている。今後地権者との意見交換会、その後の審議会で答申していく。

12月定例会

社会文教委員会報告

公民館入三分館の現状と今後の教育委員会の対応は

12月13日に開催した社会文教委員会では『公民館における分館活動について』、特に入三分館からの『分館活動休止の要請』について、教育委員会の対応、今後入三の地区住民への公民館事業をどのように行うかについて、教育委員会と意見交換を行った。

教育委員会からは現在、分館へ再度の意見集約をお願いしている状況との説明を受けた。議員からは、「分館長が公の館報で活動停止の要望を出ている状況では、地区・分館の総意と受け止めるべき」「早急に次の一手を考えるべきではなか」「本館主事が地区イベント等の企画に手助けしたらどうか」など意見が出された。

大きく環境が変化する中、公民館では現在「公民館事業に関するアンケート」を行って、今後の活動を検討するとの説明もあった。委員会では村民の『生涯学習の場』の確保、『誰一人取り残さない』公民館活動の発展のため、継続して調査を行っていくことを確認した。

社会文教委員長 中村文映





村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢を質すものです。

ここが聞きたい 7議員 12項目

高橋 良二議員(4ページ)

- 1 公民館館長・副館長について

清沢 正毅議員(5ページ)

- 1 古見山際への進出企業の環境リスクアセスメント
- 2 集落支援員活動の現状と今後

高橋 廣美議員(5ページ)

- 1 県道新田松本バイパスの古見区間について
- 2 中央公民館周辺環境整備について

林 邦宏議員(6ページ)

- 1 金属加工業者との協定締結の進捗状況は

中村 文映議員(6ページ)

- 1 朝日小学校の給食無償化について
- 2 学校給食の地産地消について

齊藤 勝則議員(7ページ)

- 1 福祉灯油補助を厳冬に備えて実施を
- 2 圃場整備の課題と空農地の活用、今後の農業は

塩原 智恵美議員(7ページ)

- 1 国の方針に基づく村のDXの進捗と今後の進め方
- 2 旧おひさま保育園解体後の土地利用について

問 現在の公民館長は3期5年目に入りました。今までは1期2年が慣例でした。本人も言っていますが、そろそろ交代の時期に来ているのではないのでしょうか。各区長に相談して持ち回りでもよろしいのではないかと。副館長もわかりです。男女共同参画の世の中であり、女性の公民館長もよろしいのではないのでしょうか。

村長 現館長の2期目は、分館活動ができないという課題対応のため引き受けていただいた。3期目は2期目の継続課題と、コロナ禍で一切の公民館活動が中止となり公民館活動の継続が危惧され、公民館活動の再開ができるよう

答 女性公民館長もよい



高橋良二 議員

正副公民館長の人選はいかに

継続して引き受けていただいた。正副公民館長の人選は、6年くらい前も各区の持ち回りでした。



村民の活動の場・中央公民館



清沢正毅 議員

古見山際へ進出企業の 環境リスクアセスメント実施を

答 村のルールに基づいて対応している

問 今回の進出企業は横浜にある自動車部品製造工場で、工場移転の背景は近隣の住民から騒音振動などの苦情が強く、市からも移転要請が何回か来ているためと聞いている。金属加工がメインで300トン・200トンプレスを使用した工程や、金属製品の洗浄工程などには危険有害物が使用されていると思われるため工場建設段階から騒音振動対策や排気汚染防止及び工場排水処理など環境リスクアセスメント実施の必要性を感じるが村としてどう対応を考えているのか？

建設環境課長 洗浄工程はなく危険有害物使用はない。また建物も騒音振動耐化構造となっている。従ってリスクアセスの必要はない。なお、当該企業とは朝日村公害防止及び環境保全協定を結び法令順守を図る。

問 地元地区との公害防止協定を締結し、住民への事前説明会を実施すべきと考ええるがいかがか？

建設環境課長 すでに横出ヶ崎地区長及び近隣住民に公害防止及び環境保全協定内容と役場で把握している情報等説明しており、協定及び事前説明会は

不要とのこと。

集落支援員活動の現状と今後は

問 集落支援員の活動が始まって5ヶ月が経つが、3名採用の内1名が未採用、自主防災会加入促進活動で一部の地域が手つかずのままバランスを逸している。いつまでどのように取り組んで行くのか？

総務課長 現在1名の応募あり来年4月から対応可能、遅れている地区は今年度未までに現在進めている他地区防災会の考え方に合わせて説明検討していただく。

問 業務量等から見て、週5日でフルタイム勤務条件に無理があるのでは？週3日勤務か1日3〜4時間勤務と言ったフレキシブルな勤務体制が選択できるように改善したらどうか？

企画財政課長 現状分析のもと今後フレキシブル勤務も検討していく。

問 今の支援員の任期は来年3月末継続していただくのが一番ありがたいが、辞められることも考えられるため早めの対応を進めてほしい。

企画財政課長 現在の支援員に継続していただけるよう話し合いを進めていく。



高橋廣美 議員

県道新田松本バイパスの 古見区間の問題点

答 令和5年着工に向け予定どおり進んでいる

問 県道新田松本バイパスは地区住民としては早期着工を強く要望するものですが何点か問題も有ります。

まず、第一に残地が出た場合の対策。第二に通学路としての安全確保はどうするのか。第三として現県道は村道に格下げとなった場合の除雪は充分できるか。

建設環境課長・教育次長

一、バイパス建設の用地買収は必要部分のみで、残地が出て買収できない。地権者が農業委員会に相談し以後の農地の利用を検討する方法しかない。

二、バイパスが現有道路か、通学路安全推進協議会、保護者等と協議をし安全な通学路を考える。

三、村道格下げ後も従来どおりの除雪は行う。

中央公民館周辺の環境整備について

一、舗装部分が少ないため、乾燥時の砂埃、冬場の凍結問題。
二、周辺の桜等、朽ちた枝を抱えた木があり落下が心配。

教育長・教育次長

一、透水性の舗装を考えている。遺跡があるので試掘調査をし、問題が無ければ新年度に対応する。

二、桜の古木は旧朝日小学校の校門に通じる、歴史のある木で樹齢九十歳である。樹木医の診断を受け、あと十年は延命したい。現在有る朽ちた枝は落下の危険があるので早めに切り落とす。



公民館桜並木



林 邦宏 議員

進出企業との協定締結の進捗状況は

答 公害防止協定では立入検査体制の条文から抑止力となる

問 古見横出ヶ崎山際への企業進出は、議会はもとより、関連する近隣の地区住民に情報の提供を図っておかないと、トラブル発生時の処置がスムーズに運びません。この度の企業進出報告は事後報告的になってしまい横出ヶ崎地区住民には、丁寧な説明が必要だと思えます。純農村で金属加工業の生産設備が稼働する訳ですが、公害防止と環境保全業は万全でしょうか、協議会の場では、納得のいく説明はいただいておりません。私は早急に環境保全協定を結んで欲しいとの、申出をいたしてあります。工事は既に始まっており、公害防止策が不備であれば即公害となる可能性は濃厚です。金属加工業では製造工程から、様々な副産物が発生し、適正に処理されないと公害となり、製造設備からは様々な騒音が発生し、騒音が吸収・遮音できる素材での工場建設でない、騒音公害となり、また排出された廃棄物処理の適格な処理も、必須事項です。加工の際、加工品には、加工油が付着します。洗浄には洗浄剤が使用され、

洗浄方式によっては、大気汚染も皆無とは言えません。どんな環境保全協定を締結したのか、するのかお伺いいたします。

①協定に抑止力を与える意味で、関係者の抜き打ち検査ができる体制を織り込むのはいかがでしょうか。

②進出企業の現状視察と企業分析はどの様に実施されたか。

③大気汚染・騒音防止・排水汚染土壌汚染等のきめ細やかな協定を結んで欲しいのですがいかがですか。

建設環境課長 協定書の締結で公害発生防止と地域住民の生活環境保全を考え締結している。進出企業の現状視察は実施していない。

問 新聞報道では本社・工場の進出とあり、進出企業の現状視察がされていない段階での協定書は細部までの取り決めが交わせず査察時に不具合が生ずるのでは。
建設環境課長 本社・工場の進出と確認している。

村長 工場を見に行き、現場をみて問題があれば見直しをする。



中村 文映 議員

小学校給食無償化の検討は

答 庁内・教育委員会で無償化の検討をしている

問 学校給食の無償化が全国の自治体で増えている。子どもの貧困化が進む中、一日の食事の中で給食の果たす役割は重要性を増し、子どもたちの発達に必要不可欠の一食になっている。村長の選挙公約で子育て支援として無償化に取り組むとあるが検討はしているか。

村長 村が独自で無償化していた保育料を国が無料にしたので、浮いた財源を利用して、来年度から無料化できるように庁内で検討を進めている。
要望 子ども・子育て支援、そして村の少子化対策、移住定住政策としても、村民に理解をいただき実現することを求める。

小学校給食での地産地消の取組は

問 地場産品の学校給食への利用が法律で規定され、また、人間が生きるのに最も大切な、食を支える農業や農産物への理解を図る「食育」としても地産地消が大切だが、小学校では取り組んでいるか。

教育長 小学校では朝日村産の地場産品利用に取り組んでいる。また、

地場産品を使用したメニュー開発にも取り組んでいる。

問 小中学生へのアンケートで「農業に愛着は無い」等の回答が見られるが、教育委員会の受け止めは。また、「食育」に対する取組は。

教育長 朝日村では保育園、小学校で農業体験を通して土に親しんでいる。また、納品していただいている農家さんを写真で紹介、講話やお便りや食育に取り組んでいる。

問 地産地消を進めるうえで関係者の話し合いの場が必要と思うがいかがか。

教育長 先ずは現在納品していただいている皆さんにお話を伺うところから始めたい。





齊藤勝則 議員

福祉灯油の補助を

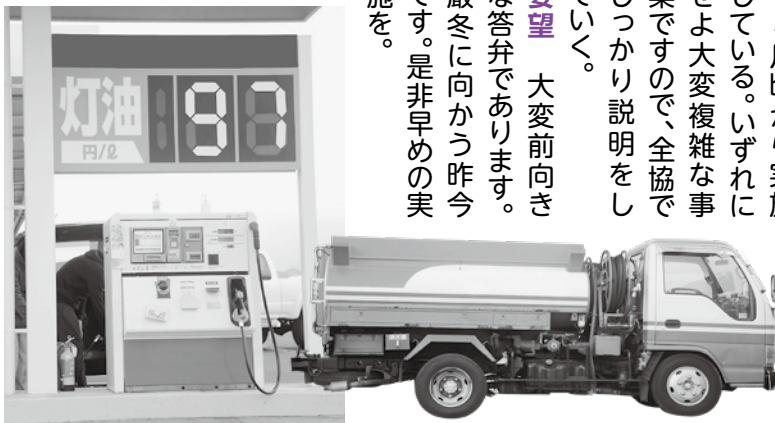
答 村民一人当たり3千円の補助を実施する

問 オペック石油輸出国機構は、新型コロナウイルス禍の中、産出量を控えているが、ひところ感染も収まりつつあり、多くの輸入国が経済再生のため増産を求めましたがオペックは、再び新型コロナウイルスのオミクロン株が蔓延の兆しが見えたため、増産を見送った。そのため石油、灯油、輸送業、その他の関連業者は、大変な負担がいま生活にかかっている。そこで厳冬に向かう中ぜひ早く福祉灯油補助の対応をしてもらいたい。また、実施するならその内容はどのようなか。国・県へ、是非要望を挙げていってほしいがいかがか。

村長 社会状況が不安定で車社会もすべての国民も、多くの企業も、値上がりで苦しんでいる。国も、生活困窮世帯、非課税世帯に対して指針をしっかりと出していない今、他町村、松本市、塩尻市などでも、生活困窮世帯に補助を出す対策を示している。村としては村民一人当たり3千円の燃料等補助券を交付。また、18歳までの子育て臨時給付金も一人当

たり10万円、668人分の補助を考えている。そのほか住民税非課税世帯、270軒に、世帯当たり10万円を、そのほかに低所得世帯で一人親世帯当たり5万円、その他対象世帯も4月頃から実施している。いずれにせよ大変複雑な事業ですので、全協でしっかりと説明をしていく。

要望 大変前向きな答弁であります。厳冬に向かう昨今です。是非早めの実施を。



塩原智恵美 議員

国の指示の中 村のDXどう進めるか

答 勉強しながら徐々に整える

問 国は2年前から全国の自治体にDX（進化したデジタル技術）を浸透することで、人々の生活をより良いものに変革する（の着実な取組と進化を求めている。どういう内容か。

総務課長 令和7年度までに全国自治体の情報システムを標準化・共通化して一本化する。令和4年度までに次の3点。①マイナカード交付率100%。②窓口申請する26の行政手続きオンライン化。③デジタル格差解消。全て国の財政支援がある。

問 財政支援あるうちに来年度から取り組むための村の予算化は。

村長 令和7年度目標の一本化と、マイナカード100%は無理。勉強しながら徐々に整え予算化する。デジタル格差解消のためのスマートフォンの勉強会は実施に向けて検討。

要望 国はマイナカードをデジタル社会のインフラと位置づけ。村が他に先駆けて環境を整えることは、村民サービス向上であり人口増加対策の大きな一手。積極的な取り組みを。

旧おひさま保育園の土地利用は

問 旧おひさま保育園は来春解体となり、村は人口増対策として公共用地を有効利用するため、若者定住賃貸住宅を建設する計画。一方で村の地域防災計画は、緊急時に住民が避難する場所の確保として、公共用地を積極的に活用するとしている。これらの見解は。

総務課長 地域防災計画に避難場所の積極活用は規定。土地利用どうするかは住宅建設と併わせて検討する。

問 災害時の人の命を守る地域防災画と、条例に規定のない住宅建設はどちらが優先順位高いか。

村長 順位はない。避難場所は他にもある。土地利用を防災に活用すること、将来の村づくりを考える住宅建設は別である。

要望 指定緊急避難場所は右岸と左岸では大きな格差がある。左岸は7か所34,000㎡、右岸は3か所11,000㎡。こうしたことも踏まえて、避難場所としての土地利用について、関係住民の範囲を広げて説明会を開くなど、地域住民の合意を図ってほしい。

議会改革

開かれた議会を目指して 議会改革その一歩!!



議会モニター定数に達し活発な意見交換

思い起こせば昨年4月発行の議会だよりで議会モニターの募集をし、6月にモニターを制度化するための要綱を策定した。応募者は7人。同月の25日に初会議を開いた。9月は実質的な意見や提言が積極的に出された。(議会ホームページや議会だよりで公表中) 12月は新たに3人が加わり定数の10名に達した。モニター会議は議会を傍聴する度に、経験を積み重ね活発な発言が寄せられる充実ぶりとなっている。意見は鮮度が高く、私たち議員が失いかけている視点な

ど気づかされる指摘もある。会議に出た意見などは会議録という形で全議員が共有し、委員会などで対応する案件は報告を求め、次のモニター会議で報告している。12月会議ではモニターからの提案で「会議のメンバーが無理のない範囲で何らかの独自の活動ができないか」という頼もしい意見があった。

私たち議会も任期1年余り。無投票回避に向けて来年4月を見据えた取組が求められる。

議会運営委員長 塩原 智恵美

更なる村民参加を目指して!

議会は村民から意見等を広く聴取し、村議会の運営や改革に反映することを目的にモニターの募集を行ってきました。募集を行うにあたり設置要綱を作成する段階では、10名の定員に対して、そんなに集まってもらえるだろうかと心配し、定員に満たない場合を想定して、議員推薦も想定して要綱を作成しました。

しかし、お陰様で12月定例会を前に新たに3名の方に参加をいただき無事定員に達しました。

初めて議会の傍聴したモニターの感想は「傍聴して議会の進み方が分かった」「これからもモニター会議に参加して意見を言いたい」など、村政や議会に興味を持っていただけたと感じました。

議会としては、今後さらに多くの村民の皆さんに村政に関心を持っていただくため、モニターや傍聴への参加者を募ってまいります。そのため、要綱の見直し、参加しやすいモニター会議のあり方等を検討していきたいと考えています。

議会運営副委員長 中村文映

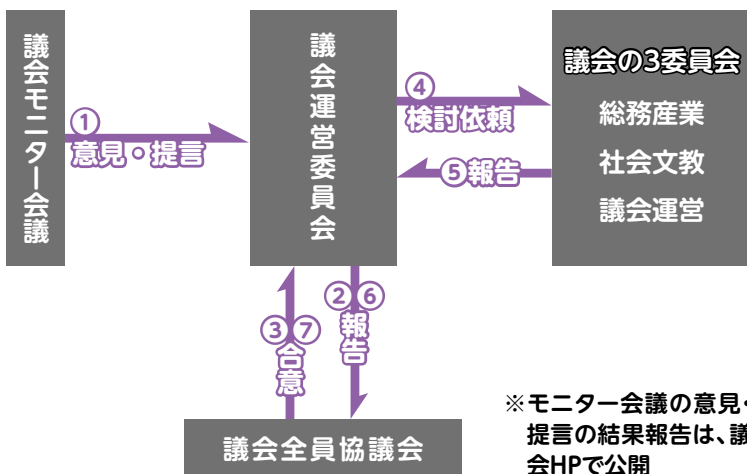
議会モニター紹介

下古見 横山 吉美さん
南 下 武田 久人さん
御馬越 齊藤 正法さん
針 尾 山田 喜孝さん
本 郷 三村 俊英さん
三ヶ組 塩原 達也さん
原新田 羽多野美映さん

新メンバー

旭ヶ丘 野村 幸子さん
原新田 中村 三好さん
本 郷 清沢 直達さん

モニター会議意見の流れ



※モニター会議の意見・提言の結果報告は、議会HPで公開

立候補届出期日せまる!

必要な条件はたったこれだけ

- 満25歳以上で日本国民であること
- 朝日村議会議員の選挙権を持っていること

私はこう思う、私はこうして欲しい
その思い「議会」で発言しませんか!!

その第一歩が立候補の届出

朝日村議会議員補欠選挙

〈立候補届出日〉2月15日(火)
午前8時30分～午後5時まで

第2回モニター会議の報告

第2回会議で出されたご意見に対し全員協議会にて報告。内容を議会運営委員会(以下議運)で、『村に対応していただくこと』『議会に対応すること』に仕分けを行った。村への報告は北村議長、塩原議運委員長が村長と面談、対応を求めた。

また、議会対応はそれぞれの所管する委員会を検討し、12月21日開催の第3回議会モニター会議において結果を回答した。(紙面では一部抜粋でご紹介。詳しくは朝日村議会ホームページをご覧ください。)

「村民目線でない表現」ではないか?!

委員会での議員発言に対して「村民目線でない」との指摘があった。その後の議会全員協議会で発言内容を確認、北村議長が全議員に対して発言に対しての注意喚起を行った。その旨モニター会議で議長が報告した。ややもすると議員同士の発言の中に、村民目線ではなく、上から目線的な発言があったことを大いに

女性議員を増やして欲しい

「女性議員を増やして欲しい」「次の選挙は無投票を避けて欲しい」との意見があった。それに対して塩原議運委員長から「議会としても取り組んでいかなくてはならない問題と捉えている。今後モニター

反省した指摘であった。しかし、その後の会議において行政側から発せられた発言に、「議員の知る権利に対し圧力ではないか」との発言があった。今後の開かれた議会「民主的議会運営のため、議会・行政とも発言に對してもう一度話し合いを行う必要がある」と感じた意見だった。

さんの意見も聞きながら、来年度1年をかけて検討し、講演会やセミナーを開催するなど、議会活動スケジュールに組み込んでいきたい」と旨発言があった。

第3回モニター会議



意見続出
第3回モニター会議

第3回モニター会議を12月21日開催した。平日午後6時からの会議にもかかわらず8名のモニターが参加し、2時間に及ぶ活発な話し合いが行われた。紙面では発言の主旨を要約して掲載させていただきます。

村民の想いを伝えるのが議員

古見の山際への工場進出や旧おひさま保育園の跡地利用も住民の知らないところで話が進んでいる。村がやろうとしていることと、地元に住んでいる人との意識の違いを感じる。そこに住んでいる人たちがどう思っているかをちゃんと伝える事が議員の仕事だと思う。それがみんなを村を考えていく第一歩ではないか。

Aさん

「忙しい」は理由にならない

議員が情報を集めるために村職員に情報提供を依頼するのに対し、村長は「職員は忙しいと発言」。忙しいのは分かるが、議員は村民の代表として仕事をしているので、情報提供依頼に対し「忙しい」を断りの理由にできない気がする。自分の職場でそんなことをしたら、もうそれこそ上司に怒られてしまいます。

Bさん

非常に良い情報収集の機会

12月定例本会議はモニターとして2回傍聴させて頂いたが、非常に良い情報収集の機会であった。諸般の報告や村長の答弁なども、もっと早く村民に全面的に知らせるべき内容が含まれていました。村民が情報を得るのは翌日の新聞です。告知手段として地元紙を活用して、村民の皆さんに情報を周知徹底したりすれば、村民に村や議会のことがかかっていたらと思う。

Cさん

議員 活動報告

現地を目で見 聞いて参加して

議員活動日誌のとおり議員は、たくさんの方の諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主だった活動について御報告させていただきます。

議員防災研修会実施

近年全国的に少子高齢化が進み、どこの自治体においても消防団員のなり手不足と言った課題を抱え、地域防災力強化への足かせとなっております。

朝日村も例外ではなく、団員不足により一部の分団において消防団活動の維持継続に支障をきたしております。

こうした現状を踏まえ、議会として今後この課題にいかに取り組んで行くべきかを考えるために、11月17日山形消防署櫻井千長署長を講師にお招きし、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化」をテーマに議員防災研修会を行いました。

研修の中で「消防団の充実強化に向けた近年の主な取り組み」についての様々な制度改革や具体的な取組事例について学び、最近朝日村において改善された消防団員の報酬水準については一定の評価が



できることは確認できましたが、他項目につきましてもなかなかハードルが高く、村の実情に合わせた身の丈に即した消防団構成の在り方を模索していくほかないのではないかと実感しました。

今回学んだことを今後の朝日村消防団の在り方および朝日村防災力強化検討に生かす、大きなテーマだけに時間をかけ、しっかりと議論していきたいと考えます。

(清沢正毅)

松本糸魚川連絡道路の早期建設を 求める総決起大会(12月22日)

松本糸魚川連絡道路は、長野県の中央部から大北地域を経由し、日本海側を結ぶ全長約100kmの高規格道路である。長野自動車道や北陸自動車道と一体となった広域的な道路ネットワークを形成するとともに、信州まつもと空港や北陸新幹線糸魚川駅、姫川港との連携により、沿線地域の商工業や観光産業を発展させる「地域を育む道」であり、迅速確実な救急輸送を確保する「命を

秋の鎖川河川清掃



つなぐ道」として、地域住民の生活道路である。望月会長は「力を合わせ、早期の全線開通にむけて事業促進を図っていきたい」と述べた。長野県内選出の国会議員が祝辞を述べ、国土交通省関東地方整備局の高松道路部長は「早期整備に向けて必要な支援をしていく」と応じた。最後に、清澤英男県会議員の音頭で「頑張ろう」と三唱して団結の機運を盛り上げた。

(高橋廣美)

秋の鎖川河川清掃

10月16日秋空の下、朝日鎖川河川愛護会主催「秋の事業」に参加、松ノ木橋から朝日橋までの間を、参加団体ごと草刈り作業と、ごみ拾いを行いました。草にツルが絡まり大変な作業でしたが、何とか予定の作業を終了することができました。

(高橋良二)



秋の鎖川河川清掃

研修会参加報告

森林・林業・林産業活性化促進議員連盟第26回総会・研修会が11月2日伊那文化会館で開催された。当議会からはコロナ禍感染中での催し総会・研修会のため、総務産業正副委員長2名が参加した。この議員連盟は県下70市町村で構成されており、今回は19市・9町・19村で83人の参加者での開催でした。

総会は令和2年度の事業・決算報告、令和3年度の事業計画・予算で承認された。研修会での伊那市の「森林ビ



議会活動日誌

10月

- 11月 議会運営委員会
松塩地区広域施設組合議会議会運営委員会
- 13水 村議会全員協議会・社会文教委員会・総務産業委員会
- 14木 村環境審議会
- 16土 鎖川河川愛護会「秋の事業」河川清掃 **10P**
小学校体育参観
- 25月 土地開発公社理事会
長野県町村議会議長会定期総会(長野市)
松塩地区広域施設組合議会10月定例会
- 31日 議会だより発行
朝日村表彰式・社会福祉協議会表彰式

11月

- 2火 森林林業林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議令和3年度総会 **11P**
- 7日 山雅ホームタウンデー・あさひスキークラブ定期総会
- 8月 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会11月定例会
- 9火 村行政改革推進委員会
- 10水 議会運営委員会
松本市山形村朝日村中学校組合議会
- 15月 松本広域連合11月定例会
- 17水 村議会全員協議会・議員研修会 **10P**
- 18木 村松くい虫防除対策協議会
- 19金 村男女共同参画審議会
- 26金 JA松本ハイランド朝日支所野菜生産販売実績検討会
- 30火 村議会全員協議会
村第1次地域福祉計画策定推進委員会

12月

- 1水 議会運営委員会
- 4土 協働のむらづくり講演会
- 8水 村議会12月定例会・全員協議会
- 9木 議会運営委員会
- 10金 あさひプライムスキー場安全祈願
- 12日 朝日村アイススケート場安全祈願
- 13月 村議会常任委員会
- 15水 村議会12月定例会一般質問
- 17金 村議会12月定例会・全員協議会
- 20月 行政・JA懇談会
- 22水 松本糸魚川連絡道路建設推進議員連盟長野県連絡会議 **10P**
- 23木 松塩地区広域施設組合議員協議会
- 27月 財政計画説明会

ジョン」の取組は、山が富と雇用を支える50年後の伊那市を目指す基本理念で活動している。実現に向けての活動は木材の活用で、公共建築物の木質化、学校の木質化、唐松・桧材での葬式用木棺、赤松製の経木(包装用の薄板)など多岐に渡り対処している。当村は87%が森林で樹種も豊富、関係者の更なる努力で、恵まれた資材が高付加価値の製品となるのではと願うものです。

(林邦宏)

県町村議会議長会表彰

この度、私ども、上條俊策議員、林邦宏議員、齊藤勝則議員、高橋廣美議員は、県町村議会議長会より、「多年(10年以上)にわたり地方自治の進展のため尽力した功績」として表彰されました。

思い起こしますと、議員に初当選したときのこと、昨日のこのように感じられました。この10年間、議員として何をしたらだろう、住民のために少しでも役に立ったことがあるだろうかと考えると、内心じくじたる思いがありま

す。この受賞を機に初心に帰り、村政発展のため努力していきたいと思えます。今後とも、皆さまの御指導御鞭撻を願います。(高橋廣美)



訃報



村議会議員の訃報について
上條俊策議員(3期目・無所属)が令和4年1月3日に78歳で逝去されました。
上條俊策議員は、平成23年の初当選以来、議長や議会運営委員会委員長などを歴任され、本村の発展に多大な貢献をされました。
ここに哀悼の意を表し、謹んで故人の御冥福をお祈り申し上げます。

村民の声

明け方の静けさの中に雄大な八ヶ岳のシルエットが見えてくる頃、冷んやりとした気持ちの良い空気に包まれる感覚を感じながら農家としての1日をスタートさせています。

農のある生活に憧れて朝日村に移住して、貸していただいた畑を耕し試行錯誤しながら作物に向き合う新規就農者としての1年目を終えました。

失敗し悩む事もあります。が村の先輩方にアドバイスや励ましの言葉をもらった事で勇気をもらい、なんとか困難を乗り越えることができました。

初めて自分で作った野菜を美味しいと感動してくれた人達がいきました。これからもその感動がずっと続くような野菜作りをしていくことを目標に、栽培技術や経験値を増やしていき新たに農業を始めたい人達へアドバイスができるような農家になれたらと思います。

作物と向き合う

新規就農者 伊藤 航さん



村内の施設やイベントに議員が訪問して その取組や要望を聞く 地域密着のコーナー

第11弾 「レッドハウスファーニチャー」



針尾にある、オーダー家具、木工製品を製造販売している、レッドハウスファーニチャーの増田善計さんをお尋ねし、お話を伺いました。工房には数々の製品が並んでおり、高級旅館等から注文のオリジナル家具の製作で大忙しの現場でした。最近では、脱プラスチックの観点から製作した朝日村産カラマツで作ったウッドバスケット（買い物籠にもなる）があり、林野庁のウッドデザイン賞を獲得しました。今後もサステナブルなもののづくりの観点から、朝日村産のカラマツ等を使用した製品を作っていきたいと、意気込みが感じられ、大いに期待するともに応援していきたいと思えました。

（高橋廣美）



ウッドデザイン賞2021受賞



編集後記

やはり令和3年はコロナ対策の一年だった。ワクチンの2回接種が終わり少し安心と思いきや、3回目の接種が1月からスタートする。そうした中でも社会生活は日々動いている。昨年12月の里雪の降った寒い日、「さんがサロン」が開かれた。地域の担い手が主催する地域の高齢者を支える大切なサロンである。全員の希望で「ポッチャ（パラリンピック競技種目）を楽しんだ。笑い声と高揚感溢れたひと時だった。今年も出来る事を繋ぐとスタッフは確認した。（塩原智恵美）

発行責任者

議長 北村 直樹

編集委員

委員長 高橋 廣美

副委員長 高橋 良二

委員 清沢 正毅

中村 文映

齊藤 勝則

塩原智恵美



こちらから
朝日村議会の
ホームページを
ご覧いただけます

**朝日村
議会議員
補欠選挙**

（投票日）**2/20日**

おれすに
投票してね